

第1日 5月14日(水)

講演プログラム

大講堂

「シンポジウム1」創薬研究とMS

- (9:30~11:50) 座長: 橋本 豊・木下 武
 1-S-01 天然物とMS (藤沢薬品工業) 重松伸治
 1-S-02 MSの薬物動態研究に果たす役割
 (山之内製薬) 三浦裕也
 1-S-03 エーザイにおけるゲノム創薬研究
 (エーザイ) 長洲毅志
 1-S-04 ハイスルーブットケミストリー (HTC) にお
 けるLC/MSシステムの役割
 (グラクソ・スミスクライン) 森本一
 1-S-05 日本企業と米国企業の研究姿勢・考え方の違
 い (萬有製薬) 西村 暹

「総会」12:00~12:50

「招待講演1」(同時通訳付)

- (15:00~15:45) 座長: 戸塚善三郎
 1-特-01 New Strategies for Automated LC/MS
 and Data Processing of Small and Large
 Molecules in Life Sciences Research
 (¹Novatia, ²Michrom BioResources)
^oMark E. Hail¹, Jeffrey L. Whitney¹,
 David J. Detlefsen¹, and Kerry D. Nugent²

「招待講演2」(同時通訳付)

- (16:00~16:45) 座長: 中村健道
 1-特-02 Mass Spectrometric Strategies for Screen
 ing Natural Toxins in Tropical Venomous
 Organisms
 (São Paulo State University)
^oMario Sergio Palma, M. A. Mendes,
 M. R. Marques, B. M. Souza,
 L. M. M. César, L. D. Santos,
 and K. S. Santos

「招待講演3」(同時通訳付)

- (17:00~17:45) 座長: 後藤順一
 1-特-03 Mass spectrometry-based approaches for
 analysis of oxidative damage to DNA and
 proteins
 (University of Pennsylvania School of
 Medicine) Ian A. Blair

大会議室

「一般口頭発表」

- (会合, クラスタ, データベース)
 (9:30~10:30)
 1-O1-01 フェニルアセチリドとメタノールの水素結
 合会合体における構造-エネルギー相関
 (九大先導研)
^o三島正章・Mustanir・松岡美緒
 1-O1-02 スプレーイオン化によるNi(II)とZn(II)の
 α -フェナンスロリンまたは2,2'-ピピリジン
 付加体の生成と構造
 (阪大院工)^o有村正名・松林玄悦
 1-O1-03 $MgCH_3^+$ クラスタイオンの電子励起状
 態における解離過程
 (東北大院理)^o古屋亜理・角山寛規・
 美齊津文典・大野公一

(10:30~11:10)

- 1-O1-04 アルカリ金属原子を含む気相クラスタ
 における電子移動誘起アニオン重合反応過程
 の研究
 (東北大院理)^o美齊津文典・大下慶次郎・
 角山寛規・古屋亜理・大野公一
 1-O1-05 気相 $C_2H_5^+(OCS)_n$ クラスタイオンの特
 異的構造異性体
 (¹山梨大クリエネ研セ・²(株)メイコー・
³奈良教育大化学科)^o藤田和雄¹・
 中川史之¹・石田雅弓¹・秋山敬一郎¹・
 樋泉光紀²・平岡賢三¹・山邊信一³

(11:10~11:50)

- 1-O1-06 液体イオン化質量分析法によるアルコール
 水溶液のクラスタの解析-エタノールと
 メタノール
 (¹横浜国大・²東京薬大・³法政大)
^o土屋正彦¹・志田保夫²・小林健一³・
 谷口 修³・大河内正一³
 1-O1-07 インターネット活用型質量スペクトルデー
 タベース(III) Web ネット上の通信高速性
 の現状 (¹日本アステック・²I.N.J.)
 六車裕孝¹・前田浩五郎²

「ランチョンセミナー」

- (12:00~13:30) アマシャム バイオサイエンス
 株式会社

「一般口頭発表」

- (プロテオーム, タンパク質)
 (15:00~15:40)
 1-O1-08 2次元電気泳動法を用いるプロテオミクス
 研究の創薬への応用と問題点
 (¹山之内製薬分析研究室・²山之内製薬
 ゲノム創薬研究室)^o平本昌志¹・横田博之²

第1日 5月14日(水)

- 1-O1-09 ICAT法によるタンパク質発現解析の問題点と展望
(山之内製薬分析研究室)°平本昌志
(15:40~16:20) 中会議室
「TMS 研究部会」
(9:30~12:00)
- 1-O1-10 虚血性神経細胞死に関連する細胞内タンパク質のプロテオミクスによる検索
(¹熊大医腫瘍・²SRL・³東京都老人研・⁴九州東海大農バイオ・⁵つくばプロテオミクス研・⁶九大院医)
°荒木令江¹・Siriporn Patrakitkomjorn¹・馮立平¹・小澤達也¹・川野克己^{1,2}・戸田年総³・荒木朋洋⁴・次田 皓⁵・吉良潤⁶・佐谷秀行¹
「ランチョンセミナー」
(12:00~13:30) ジャスコインタナショナル株式会社
日本ウォーターズ株式会社
「TMS 研究部会」
(15:00~17:20)
- 1-O1-11 質量分析法によるシトクローム P450 17 α のリボソーム膜結合部位の解明
(¹広島大院理・²広島大総合)
水野 初¹・金子 弘²・泉 俊輔¹・山崎 岳²・平田敏文¹・小南思郎²
(16:20~17:00)
- 1-O1-12 高感度質量分析装置を用いたヒト T 細胞活性化で誘導されるリン酸化タンパク質の解析
(¹熊大院医免疫識別・²熊大医腫瘍医学)
°入江 厚¹・竹下公弥子¹・塚本博丈¹・荒木令江²・西村泰治¹
- 1-O1-13 RC-SELDI-MS 法を用いた迅速なタンパク質精製プロセスの開発
(サイファージェン・横浜研)
°志和美重子・若田部るみ

第1日 5月14日(水)

ホワイエ・多目的室

「ポスター発表」

(13:30~15:00)

- 1-P-01 非スプリット低流速LC/MSによるタンパク質・ペプチドの分析 (横浜市大院総合理) °伊藤喜之・西村善文・明石知子
- 1-P-02 内径 30 μm テーパー型メタルニードルを用いた NanoESI 法のタンパク質構造解析への応用 (味の素ライフサイエンス研) °山田尚之・湯地玲子・嵐田直子・鈴木榮一郎・平山和雄
- 1-P-03 LC-Frit-FAB/MS 法によるペプチドの一次構造解析 (シーエーシーズ(株)横浜分析センター) °武田尚子・小澤雅富
- 1-P-04 気相エドマン分析法を利用したペプチドマスマフィンガープリンティング法 (阪大蛋白研・アサヒテクノイオン(株)) °里見佳典¹・藤田哲史²・田村義典²・高尾敏文¹
- 1-P-05 蛍光標識法によるペプチドの新しい配列解析法 (産総研・生物情報解析セ・東大理) °中川将利¹・山垣 亮²・中西洋志¹
- 1-P-06 大気圧 MALDI/イオントラップ型質量分析計を用いたタンパク質の迅速分析 (横河アナリティカルシステムズ) °澤田浩和・清水尚登・熊谷浩樹
- 1-P-07 ダイレクトプロテオミクスのためのタンパク質分析法 (理研・生体分子解析) °三浦広美・瀧尾擴士・中山 洋
- 1-P-08 SDS-PAGE—二次元 LC/MS/MS による大腸菌のプロテオーム解析 (NITE) °石川花子・三瀬美也子・西嶋桂子・佐々木和実
- 1-P-09 アトピー性皮膚炎モデルマウスの血漿プロテオーム定量解析 (東京医大臨床プロテオームセンター) °川上隆雄・安養寺久栄・荻原 淳・西村俊秀
- 1-P-10 細胞内情報伝達シミュレーションを目的とした質量分析計による相互作用タンパク質の網羅的解析の検討 (理研 GSC ゲノム情報科学研究グループ) °松村和美・長谷川亜樹・兪 暁梅・島山真里子・小西史一・小長谷明彦
- 1-P-11 タンパク質複合体消化物直接解析の定量的側面: FT ICR MS を用いた精密質量クロマトグラム解析に基づくアプローチ (理研バイオ解析・理研播磨) °中村健道¹・堂前 直¹・瀧尾擴士²
- 1-P-12 多次元分離による PSD 画分のプロテオーム解析 (株)カン研究所・エーザイ(株)シーズ研 °佐藤啓子¹・小田吉哉²・片山博之²・田畑 剛²・竹内勝一¹・依田真紀¹・長洲毅志²
- 1-P-13 96 穴プレートを利用した効率的なゲル内消化法の開発 (エーザイシーズ研) °片山博之・小田吉哉・長洲毅志
- 1-P-14 高解像度ラージゲルを用いた二次元電気泳動法によるプロテオーム解析 (奈良先端大・奈良先端大, PREST 科技団) °勝田和夫¹・森 達也¹・上田倫子¹・稲垣直之^{1,2}
- 1-P-15 二次元電気泳動法による塩基性タンパク質群発現プロファイルの作成 (奈良先端大・奈良先端大, PREST 科技団) °森 達也¹・勝田和夫¹・上田倫子¹・稲垣直之^{1,2}
- 1-P-16 ゲル内消化に有効的なタンパク質染色方法の検討 (奈良先端大・奈良先端大, PREST 科技団) °鳥山道則¹・野村英子¹・稲垣直之^{1,2}
- 1-P-17 プロテオミクスにおけるゲル内タンパク質の消化効率の改善 (奈良先端大・奈良先端大, PRESTO 科技団) °野村英子¹・鳥山道則¹・稲垣直之^{1,2}
- 1-P-18 ヒト血漿のプロテオーム解析法に関する研究 (1) 溶液中における酵素消化法の検討 (シナイ山医大・東京医大臨床プロテオームセ) °藤井清永^{1,2}・西村俊秀²・Rong Wang¹
- 1-P-19 SYPRO Ruby 染色によるメチオニン残基の酸化 (JST・東和科学(株)・(株)プロフェニックス・広大院理) °武田善子¹・山縣 彰^{1,2,3}・妙見(宮本)夕佳¹・稲松 睦¹・大房 健^{1,2,3}・吉里勝利^{1,3,4}
- 1-P-20 LC/MS によるプロテオーム解析に求められる実験用水の水質 (日本ミリボアラボウォーター事) °石井直恵
- 1-P-21 多糖類の ESIMS: メチル化イヌリンのアルカリ金属イオンの包接 (阪大産研・大工大) °高井嘉雄¹・五島学人²・田中寿一²・澤田正實¹
- 1-P-22 ホスト-ゲストキラル認識システムのナノスプレー ESIMS (阪大産研・関大工・阪市工研・阪大基礎工) °山田 等¹・吉川宗義²・静間基博³・福田和夫⁴・高井嘉雄¹・荒川隆一²・澤田正實¹

第1日 5月14日(水)

- 1-P-23 ESIMS/MSによるee決定用の新しいホスト-メタル-ゲストシステム
(¹阪市工研・²阪工大・³阪大産研)
°静間基博¹・村中正道²・山田 等³・高井嘉雄³・田中寿一²・澤田正實³
- 1-P-24 マンノフラノース骨格を含む新規鎖状ホストのキララ認識能
(¹阪市工研・²阪大産研)°静間基博¹・山田 等²・高井嘉雄²・武田徳司¹・澤田正實²
- 1-P-25 1,3-Butadiene diepoxideの超臨界反応生成物のオンライン質量分析
(¹関西大工)°植村誠治・近藤正信・福尾剛志・荒川隆一
- 1-P-26 EIによるトリフェニルホスフィン試薬を用いた過酸化物の検出
(¹神奈川大工)°持田由幸・新井五郎・中村茂夫
- 1-P-27 ヘテロフラレンの合成および二重収束タンデム質量分析法によるキャラクタリゼーション
(¹産総研・²JFCC)°中村孝子¹・石川啓一郎¹・後藤亜紀子²・石原正統¹・大花継頼¹・古賀義紀¹
- 1-P-28 Frit-FAB法による色素の質量分析
(シーエーシーズ(株)横浜分析センター)°大場恵史・香川修司
- 1-P-29 昇華型化学イオン化法を用いた色素およびポリマーの質量分析
(シーエーシーズ(株)横浜分析センター)°香川修司・小澤雅富
- 1-P-30 MALDI-TOF MSによるリチウムイオン二次電池電解液の添加剤分析
(¹シーエーシーズ(株)横浜分析センター・²三菱化学(株))°鳩崎拓也¹・武居尚英¹・志塚賢治²・島 邦久²・宇恵 誠²
- 1-P-31 合成高分子のMALDI-TOFMS定量性評価に関する共同測定
(¹産総研・²東レリサーチセ・³島津製作所・⁴Federal Inst. for Materials Research and Testing (BAM))°衣笠晋一¹・富樫 寿¹・長畑律子¹・松山重倫¹・佐藤浩昭¹・島田かより¹・佐藤信之²・川畑慎一郎³・Steffen M. Weidner⁴
- 1-P-32 MALDI-TOFMSを使用した合成高分子分子量分布測定における分子鎖状形態の影響
(¹産総研・²島津製作所)°島田かより¹・Marina A. Lusenkova¹・佐藤圭祐¹・松山重倫¹・長畑律子¹・衣笠晋一¹・川畑慎一郎²
- 1-P-33 UV-MALDI-TOF-MS Analysis of Poly(sil-sesquioxane)s Derived from the Hydrolytic Condensation of Organotrialkoxysilanes Containing Hydroxyl Groups
(¹Univ. de Buenos Aires・²Univ. Mardel Plata and CONICET・³Ehime Univ.)
°Rosa Erra-Balsells¹・Ignacio E. dell'Erba²・Diana P. Fasce²・Roberto J. J. Williams²・Yuko Fukuyama³・Yasuto Sato³・and Hiroshi Nonami³
- 1-P-34 DIOS法による合成高分子の質量分析
(¹関西大工)°下前幸康・小原一真・荒川隆一
- 1-P-35 MALDI-TOFMS用新規マトリクスと合成高分子への応用
(¹住友化学筑波研)°滝川宏司・中島秀明・岡田明彦・佐々木俊夫
- 1-P-36 マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法および反応熱脱着ガスクロマトグラフィによるポリプロピレン材料中の高分子量ヒンダードアミン系光安定剤の直接分析
(¹名大院工・²名大高エネセ・³愛工大)°大谷 肇¹・田口嘉彦¹・石田康行²・柘植 新³
- 1-P-37 SEC/MALDI-MSによる合成高分子分析の基礎検討
(¹産総研環境管理・²名大院工)°佐藤浩昭¹・田尾博明¹・大谷 肇²
- 1-P-38 デオキシコル酸ブタノール包接化合物のTG-MS
(¹近畿大理工)°木村隆良・辻本公英・神山 匡
- 1-P-39 難燃化電線の熱分解特性
(¹能美防災)°鈴木克裕・前川麻弥・能美 隆
- 1-P-40 オリゴ糖関連化合物: 正負両モードに対応できるESI-MS質量較正物質
(¹住友化学学生科研)°山下和子・岡本昌彦・中井 清
- 1-P-41 LC-TOFMS用コールドスプレーイオン源の開発
(¹日本電子・²千葉大分セ)°小沼純貴¹・森田徹一郎¹・大須賀潤一¹・田中和子¹・高橋 豊¹・小林達次¹・田村 淳¹・上田祥久¹・山口健太郎²
- 1-P-42 LC-TOFMS用イオン源などの開発と応用
(¹日本電子)°田中和子・大須賀潤一・小沼純貴・上田祥久・森田徹一郎
- 1-P-43 LC-TOFMS用CE-MSインターフェースの開発と応用
(¹日本電子)°高橋 豊・森田徹一郎・長友健治・小林達次・西村康弘・田村 淳

第1日 5月14日(水)

- 1-P-44 ESIのスプレー粒径, 流速のPDPA (Phase Doppler Particle Analyzer) による空間分布測定と評価 (1島津製作所基盤技術研究所・
2島津製作所設計技術センター・
3島津製作所分析計測事業部 MS/GC BU・
4関西大工) °竹内貞夫¹・井上藤男²・
福田充昭³・原田高宏¹・林 茂樹¹・
田地川 勉⁴・桜井 篤⁴・大場謙吉⁴
- 1-P-45 ナノフロー新インターフェースの開発
(日立中研) °平林 集
- 1-P-46 赤外自由電子レーザーとUVレーザーの同時照射によるMALDI-TOFMSの開発
(阪大 iFEL) °内藤康秀・石井克典・
鈴木幸子・粟津邦男
- 1-P-47 位置検出器を用いた高感度ガスクロマトグラフ質量分析器の開発
(1阪大院理・2CREST) °豊田岐聡¹・
榮 欧樹²・市原敏雄¹・
石原盛男¹・交久瀬五雄¹
- 1-P-48 月・惑星探査用二重収束質量分析器の性能評価
(1阪大院理・2NASDA) °上田康平¹・
西口 克¹・豊田岐聡¹・石原盛男¹・
大竹真紀子²・杉原孝光²・交久瀬五雄¹
- 1-P-49 超高速微粒子衝突による宇宙塵測定用飛行時間型質量分析器の開発
(1東大原総セ・2東大理・
3獨協医大・4東水大)
°柴田裕実¹・濱邊好美¹・佐々木 晶²・
河村 亨³・野上謙一³・大橋英雄⁴
- 1-P-50 リフレクトロン TOF-MS の質量分解能・質量範囲の高性能化
(産総研・電力エネルギー) °齋藤直昭・
高橋栄一・三浦永祐・小山和義・谷本充司
- 1-P-51 マルチターン飛行時間型質量分析計の性能評価 III—有機化合物の測定—
(阪大院理) °萩原拓郎・奥村大輔・
豊田岐聡・石原盛男・交久瀬五雄
- 1-P-52 「MULTUM II」によるMALDI法により生成したイオンの測定
(阪大院理) °奥村大輔・豊田岐聡・
石原盛男・交久瀬五雄
- 1-P-53 RF イオントラップへの荷電粒子打ち込みシミュレーション
(阪大院理) 佐々木健次・°石原盛男・
公文代康祐・豊田岐聡・交久瀬五雄

第2日 5月15日(木)

大講堂

「シンポジウム2」 分離技術の開発と応用

- (9:10~11:10) 座長: 高橋 豊・浅川直樹
- 2-S-01 電気クロマトグラフィーの多様性とCEC/MS
(名古屋工業大) 津田孝雄
- 2-S-02 ファイバーを媒体とするマイクロ分離分析システム
(豊橋技術科学大) °神野清勝・齊戸美弘
- 2-S-03 ナノバイオデバイスによるプロテオーム解析
(徳島大) 馬場嘉信
- 2-S-04 CE-MSによるメタボローム測定
(慶應義塾大) 曾我朋義

「受賞講演」

(16:50~17:50)

座長: 山岡亮平

- 2-受-01 質量分析法による原子・分子過程科学の研究
(山梨大クリエネ研セ) 平岡賢三
- 2-受-02 ポストソース分解法による糖鎖構造の研究
(東大院理) 山垣 亮

「招待講演4」(同時通訳付)

(11:10~11:55)

座長: 明石知子

- 2-特-01 SUPREX: A New H/D Exchange- and MALDI Mass Spectrometry-Based Method for Measuring the Thermodynamic Stability of Proteins in Solution
(Duke University) °Michael C. Fitzgerald, Kendall D. Powell, Liyuan Ma, Michael Z. Wang, Susie Dai, Yan Tong, and Jagat Shetty

「招待講演5」(同時通訳付)

(15:00~15:45)

座長: 和田芳直

- 2-特-02 SELDI Protein Chip Array Protein Identification and Characterization Strategies for Studying Biomarkers of Clinical Interest
(CIPHERGEN Biosystems, Inc.) °Scot R. Weinberger
Contribution of Human α -Defensin 1, 2, and 3 to the Anti-HIV-1 Activity of CD8 Antiviral Factor
(CIPHERGEN Biosystems, Inc.)
Linqi Zhang, Wenjie Yu, Tian He, Jian Yu, °Rebecca E. Caffrey, Enrique A. Dalmasso, Siyu Fu, Thang Pham, Jianfeng Mei, Jaclyn J. Ho, Wengyong Zhang, Peter Lopez, and David D. Ho

「招待講演6」(同時通訳付)

(15:55~16:40)

座長: 小田吉哉

- 2-特-03 Towards Comprehensive Proteomics of Cells
(Dept. of Cell Biology, The Scripps Research Institute)
°John R. Yates, Christine Wu, Michael McCoss, Anita Saraf, and Hayes McDonald

第2日 5月15日(木)

大会議室

「一般口頭発表」

(生化学, 同位体)

(9:10~9:50)

- 2-O1-01 新規 tRNA タウリン修飾の生合成機構とミトコンドリア脳筋症の発症機構

(¹東大院新領域・²Univ. of Tampere)

°鈴木健夫¹・桐野陽平¹・安川武宏¹・

Sanna K. Lehtinen²・

Howard T. Jacobs²・

渡辺公綱¹・鈴木 勉¹

- 2-O1-02 質量分析法によるアミロイド線維形成における構造単位の同定

(¹神戸大院・自然科学・

²神戸大バイオシグナル研)

°米原久美子¹・田中修平¹・

吉野健一²・米澤一仁²・田村厚夫¹

(9:50~10:50)

- 2-O1-03 ESIMS による多硫酸化糖鎖 (sucrose octasulfate) の分析: 対イオンの検討

(¹帝京大医 2 生化・²Univ. of Iowa・

³千葉大院薬) °只野-有富桂子¹・

Nur Sibel Gunay²・戸井田敏彦³・

Robert J. Linhardt²・石塚稲夫¹

- 2-O1-04 (-) ESIMS における付加型イオン [M + 89]⁻ の構造

(¹電通大・²Univ. Köln) °大橋陽子¹・

Herbert Budzikiewicz²・中里正喜¹・

平野 誉¹・牧 昌次郎¹・丹羽治樹¹

- 2-O1-05 脂質メタボローム解析への FTICR/MS の応用 (名市大院薬分子生物) °田口 良・

石田真悠子・北條俊章・

山崎俊幸・今川正良

(10:50~11:30)

- 2-O1-06 大環状ポリエーテルを用いた亜鉛同位体分別実験 (東工大院理工・京大原子炉)

°浅田陽一¹・藤井俊行²・平田岳史¹

- 2-O1-07 人血液中の鉄・亜鉛高精度同位体分析

(東工大院理工・順天堂大医)

°大野 剛¹・篠原厚子²・

千葉百子²・平田岳史¹

「ランチョンセミナー」

(12:00~13:30)

日本ウォーターズ株式会社

「一般口頭発表」

(イオン化, その他)

(15:00~16:00)

- 2-O1-08 塩化ナトリウム水溶液からのシリカの析出機構; ゲルと液相における化学種の同定

(東水大・理研) °田中美穂¹・高橋和也²

- 2-O1-09 LC/MS に用いる新しいグロー放電イオン化法

(国環研循環セ) °鈴木 茂・安原昭夫

- 2-O1-10 コインシデンス法を用いた KrM 殻イオン化による多価イオン生成機構

(¹産総研・²広大院理・³愛媛大理・

⁴京教大理・⁵JASRI) °鈴木 功¹・

岡田和正²・谷本修一郎²・藤井亜紀子³・

長岡伸一³・伊吹紀男⁴・

芳我裕一⁴・為則雄祐⁵

(16:00~16:40)

- 2-O1-11 レーザースプレーにおけるアミノ酸等の高感度検出

(山梨大クリエネ研セ) °酒井 亨・

上田和弘・古屋寛子・平岡賢三

- 2-O1-12 準安定励起状態の希ガス原子を用いた気体分子のペニングイオン化に関する研究

(山梨大クリエネ研セ)

°古屋寛子・藤野道子・平岡賢三

第2日 5月15日(木)

中会議室

「一般口頭発表」

(SID, イオン反応)

(9:10~10:10)

- 2-O2-01 4種の電荷逆転過程の比較
(阪府大総科)°早川滋雄・渡邊信明・友澤浩二
- 2-O2-02 電子衝撃によるベンゼンジカルボン酸ジエチルエステルの単分子メタステーブル分解
(¹群馬高専・²日本電子・³アムステルダム自由大学)
田島 進¹・儒田正史¹・中島 敏¹・高橋 豊²・N. M. M. Nibbering³
- 2-O2-03 プロトン化ペプチドにおける電子捕獲解離機構の理論的検討
(愛知教大)°小西英之・石橋太郎

(10:10~10:50)

- 2-O2-04 末端にフェニル基を有する*N*-アシルラクタム類の気相単分子分解
(¹阪女大理・²福井大教育地域科・³サカイオーベックス)°山岡寛史¹・草木育子¹・勝間久美子¹・伊佐公男²・前川康彦³
- 2-O2-05 OCSの関与する正及び負イオン/分子反応
(¹山梨大クリエネ研セ・²(株)メイコー・³奈良教育大化学科)°石田雅弓¹・中川史之¹・藤田和雄¹・秋山敬一郎¹・樋泉光紀²・平岡賢三¹・山邊信一³

(10:50~11:50)

- 2-O2-06 単原子分子(Ar, Kr, Xe)薄膜の400 eV Ne⁺衝撃による TOF-SIMS
(山梨大クリエネ研セ)°雨宮 僚・上原 涼・佐藤哲也・平岡賢三
- 2-O2-07 2原子分子(N₂, O₂)薄膜の400 eV Ne⁺イオン衝撃による TOF-SIMS
(山梨大クリエネ研セ)°雨宮 僚・上原 涼・佐藤哲也・平岡賢三
- 2-O2-08 N₂薄膜の400 eV H₂⁺イオン衝撃 TOF-SIMS: NH_n⁺(*n*=0~4)の生成
(山梨大クリエネ研セ)°上原 涼・雨宮 僚・佐藤哲也・平岡賢三

「ランチョンセミナー」

(12:00~13:30)

株式会社島津製作所

「一般口頭発表」

(装置, その他)

(15:00~16:00)

- 2-O2-09 月・惑星探査用二重収束質量分析器の開発
(¹阪大院理・²NASDA)°西口 克¹・上田康平¹・豊田岐聡¹・石原盛男¹・大竹真紀子²・杉原孝充²・交久瀬五雄¹
- 2-O2-10 直交加速式 Trap-TOF 質量分析計の開発
(1) Trap と TOF との同期結合方式—
(¹日立中研・²日立日研)°奥村昭彦¹・平林 集¹・馬場 崇¹・橋本雄一郎¹・和氣 泉¹・吉成清美²
- 2-O2-11 直交加速式 Trap-TOF 質量分析計の開発
(2) Trap と TOF の非同期結合—
(¹日立中研・²日立日研・³日立ハイテック)°橋本雄一郎¹・和氣 泉¹・吉成清美²・師子鹿 司³・照井 康³

(16:00~16:40)

- 2-O2-12 雰囲気制御型高温質量分析計による Li₂TiO₃ の還元雰囲気における蒸発特性への影響
(¹東大院工・²東大原総センター・³中央大理工)°星野 毅¹・小林 剛²・安本 勝³・寺井隆幸¹・高橋洋一²・山脇道夫¹
- 2-O2-13 イオン付着質量分析法(IAMS)によるアルミニウムアルコキシド加水分解生成物の放出ガス計測
(¹アネルバ真ソ基礎技 Gr.・²AIST)°中村 恵¹・津越敬寿²・関口若菜¹・渡利広司²

第2日 5月15日(木)

ホワイエ・多目的室

「ポスター発表」

(13:30~15:00)

- 2-P-01 化学的修飾による核外タンパク質-核酸複合体の質量分析
(北陸先端大院材料) °林 明生・辻本和雄
- 2-P-02 DNA 関連物質の質量解析を用いた分析
(¹CREST・²慶大理工・³神奈川技術アカデミー)
°本田亜希^{1,2}・丹治範文²・鈴木祥夫^{2,3}・岩澤尚子²・鈴木孝治^{1,2,3}
- 2-P-03 プロテオミクスによる細胞周期制御因子の作用機所の解析
(農工大院農)
長谷川 亮・°石川英明・須田恭之・館川宏之・藤山沙理・柳田光昭・早野俊哉・高橋信弘
- 2-P-04 プロテオミクスの手法による TNF- α シグナル応答の解析 (東農工院農) °逸見 巖・田原俊介・柳田光昭・高橋信弘
- 2-P-05 プロテオミクスによる S-チオール化タンパク質の同定および機能解析
(名大院生命農学) °石井剛志・大澤俊彦・内田浩二
- 2-P-06 ユビキチン関連プロテオームの網羅的解析
(九大生医研分子発現) °松本雅記・中山敬一
- 2-P-07 ラット骨格筋の速筋と遅筋のポリアクリルアミドゲル電気泳動による発現プロファイル解析
(¹阪大蛋白研代謝・²阪大蛋白研機能発現プロテオミクス) °奥村宣明¹・松八重雅美²・喜多加納子¹・奥村明子¹・高尾敏文²・永井克也¹
- 2-P-08 2型糖尿病モデルラット(OLETF)のプロテオーム解析
(¹北里大理・²北里大医) °小寺義男¹・大石正道¹・佐藤 守¹・上野 剛¹・土橋香織¹・古館専一²・前田忠計¹
- 2-P-09 新規トランス因子を探索子としたヒトリボソーム合成過程の機能プロテオミクス解析
(農工大) °川崎実由希・白川智代・早野俊哉・高橋信弘
- 2-P-10 血管内皮細胞における抗酸化ストレス応答のプロテオーム解析 (¹サーモクレスト(株)・²産総研ストレスセ・³東大先端研)
°木全順子¹・絹見朋也²・野口範子³・二木鋭雄²
- 2-P-11 質量分析法を利用したアクロレイン修飾タンパク質の解析
(¹静岡県大食品栄養科学・²名大院生命農学)
°山田朋恵¹・熊澤茂則¹・中山 勉¹・石井剛志²・内田浩二²

- 2-P-12 枯草菌胞子タンパク質の液体クロマトグラフィータンデム質量分析計による同定と二種の検索ソフトの比較評価
(¹茨城大農・²奈良先端大情報・³摂南大薬)
°笠原康裕¹・桑野晶喜²・桑名利津子³・高松宏治³・渡部一仁³・小笠原直毅²
- 2-P-13 *Saccharomyces cerevisiae* TUS1 の変異株取得と機能解析
(¹AIST, RCG・²Eisai, DRLI・³Eisai, LSFT) °梅村真理子¹・仲山賢一¹・畑 桂²・渡辺直彰²・小田吉哉³・地神芳文¹
- 2-P-14 FT-ICRMS を用いたリゾチームの酸化リフォルディング中間体の追跡
(¹食総研・²江崎グリコ生化研)
°村田貴志¹・亀山真由美¹・鷹羽武史²・寺田善信²・林 清¹・町田幸子¹・吉田 充¹
- 2-P-15 H/D 交換法を用いたカルシトニンのフォルディング解析
(¹中外製薬(株)・²横浜市大院理)
°名淵義明¹・麻生良典¹・高山光男²
- 2-P-16 質量分析法によるジヒドロ葉酸還元酵素の部位特異的 H/D 交換の研究
(広大院理) °山本竜也・泉 俊輔・月向邦彦
- 2-P-17 医薬品開発に代謝情報を活かすことを目的とした代謝物検索システムの構築
(エーザイ) °佐野善寿・川口晋紀・吉村 勉・五味渕真美
- 2-P-18 LC/MS を用いた代謝安定性スクリーニング系の確立
(エーザイ(株)薬理安全性研) °川口晋紀・佐伯 聡・藤澤正枝・金子和裕・佐野善寿・吉村 勉
- 2-P-19 血漿中 TCH346 および 4 代謝物の同時定量法
(ノバルティスファーマ(株)筑波研)
°原 久典・内村貴志・明石直嗣・長沼朋佳・相澤徹志・永江祐輔・増田直記
- 2-P-20 マウス血漿および肝臓より見出されるフコキサンチン代謝物の解析
(食総研) °浅井 明・菅原達也・小野裕嗣・長尾昭彦
- 2-P-21 LC/MS/MS 法による尿中デモシンおよびイソデモシンの定量法の開発
(ノバルティスファーマ(株))
°杉山育男・古坂学俊・永江祐輔・増田直記
- 2-P-22 血漿中薬物および代謝物のイオンペア LC/MS/MS 法による直接分析
(エーザイ(株)分析研)
°山本栄一・梶間 隆・浅川直樹

第2日 5月15日(木)

- 2-P-23 四重極/リニアイオントラップのハイブリッド質量分析計を用いた薬物構造変化の追跡 (タカラバイオ) °渡辺 淳・小暮佳史・川瀬靖聡
- 2-P-24 カラムスイッチング法を用いた重水素交換 LCMSMS システムの代謝物構造解析研究への応用 (エーザイ(株)分析研) °浅井直樹・横山由美・田中政行・浅川直樹
- 2-P-25 MS トリガーを用いたオンライン NMR 用分取システム; —迅速かつ確実な代謝物構造決定への応用— (エーザイ(株)分析研) °横山由美・浅井直樹・田中政行・浅川直樹
- 2-P-26 強塩基性化合物及びその代謝物の LC/MS/MS による定量法の確立 (°日本化薬創本・°新日本科学薬物代謝分析セ) °合田里佳¹・河城孝史¹・山下幸和¹・中村 俊²・柴生田葉子²・日高玲子²
- 2-P-27 LC/APCI/MS Analysis of Etheno 2'-Deoxyguanosine Adducts as a Dosimeter for Oxidative Stress (University of Pennsylvania) °Seon Hwa Lee, Tomoyuki Oe, Tilo Grosser, Garret A. FitzGerald, and Ian Blair
- 2-P-28 Characterization of a Lipid Hydroperoxide-derived Post-translational Modification to a Histone Protein Using Mass Spectrometry (CCP Univ. of Penn.) °Tomoyuki Oe, Seon Hwa Lee, Anastasia K. Yocum, Jasbir S. Arora, and Ian Blair
- 2-P-29 HSS/GC/MSD による医薬品中の残留溶媒分析条件の検討 (万有製薬(株)つくば研) °小島久毅・桜井直人・西村生子・中村立二・深見竹広
- 2-P-30 極性誘導体化によるステロイドおよび糖類の ESI 高感度分析 (3) (°日本化薬・創薬・°横浜市大院総合理学) °橋本 豊¹・高山光男²
- 2-P-31 CE/micro ESI/TOF-MS によるペプチドの定量分析 (京大院薬) °黒田幸弘・幸長秀雄・澁川明正・中川照真
- 2-P-32 アレルギー性接触皮膚炎を誘発する分散染料の質量スペクトルによる化学構造の解明及び化学構造的特徴 (°評価機構・°名大環境皮膚科) °佐々木和実¹・阪井麻里¹・杉浦真理子²
- 2-P-33 アレルギー性接触皮膚炎を誘発する分散染料の質量スペクトルデータベースの構築 (評価機構) °阪井麻理・佐々木和実
- 2-P-34 同位体希釈質量分析による魚油標準物質の開発 (°産総研・°NEDO) °石川啓一郎¹・大塚聡子²・井原俊英¹・野村 明¹
- 2-P-35 LC/MS におけるフラグメンテーションの解析 (1 報). カルボニル化合物の DNPH 誘導体 (国環研) °安原昭夫・槇島美由紀・鈴木 茂
- 2-P-36 LC/MS/MS による有機フッ素化合物の分析 (°関西大工・°阪市環研) °北川博士¹・溝奥康夫¹・荒川隆一¹・張野宏也²
- 2-P-37 ダイオキシン類の抽出及び GPC 精製法の開発 (I) (農環研分析センター) °殷 熙洙・渡邊栄喜・馬場浩司・石坂真澄・上路雅子
- 2-P-38 講演中止
- 2-P-39 日本の湖沼におけるダイオキシン類に関する研究 第 III 報 (農環技研) °渡邊栄喜・殷 熙洙・馬場浩司・石坂真澄・石井康雄
- 2-P-40 河川における水田より流出する除草剤の LC/MS/MS 分析 (°農環研・°農工大院) °石坂真澄¹・石原 悟¹・渡邊裕純²
- 2-P-41 レーザーアブレーション-ICP-MS による玄米中カドミウムの直接分析 (農環研分析 C) °馬場浩司・渡邊栄喜・殷 熙洙・石坂真澄
- 2-P-42 岐阜県東濃地域地下水の希ガス・Sr 同位体研究 (°東大院理・°三菱マテリアル総研・°三菱マテリアル資源開発・°JNC 東濃・°JNC 幌延) °長尾敬介¹・上田 晃²・亀井淳子²・後藤綾子²・川村 惇³・岩月輝希⁴・濱克 宏⁵
- 2-P-43 質量分析とガスセンサによる生存者の探索 (能美防災(株)基礎研) °上野浩志・能美 隆
- 2-P-44 ESIMS におけるアルカリ金属付加イオンを利用したプロリルプロリンエステル立体異性誘導体の識別と非経験的分子軌道法による解析 (°福岡大薬・°九大院薬・°東和大工) °恒松英明¹・池田浩人¹・花園弘志¹・稲垣昌宣²・磯部隆一³・樋口隆一²
- 2-P-45 糖鎖 PSD における N-アセチル基の影響 (°東大院理・°産総研) °山垣 亮¹・中西洋志²
- 2-P-46 FAB MS/MS 法と *ab initio* 計算によるゲルマニウム三重結合をもつジゲルミニイオンの生成、構造とその反応 (°奈良女大理・°東医歯大分析・°阪大産研・°筑波大化) °竹内孝江¹・白井裕子¹・笠間健嗣²・山田 等³・澤田正實³・関口 章⁴

第2日 5月15日(木)

- 2-P-47 レーザーイオン化飛行時間質量分析法を用いた金属クラスター錯体の分析
(産総研極微計測ラボ) °溝田武志・野中秀彦・藤本俊幸・一村信吾
- 2-P-48 スプレーイオン化によるコバルトセニウムカチオンと二座配位子からなるクラスターイオンの生成と構造
(阪大院工) °松野行壮・有村正名・松林玄悦
- 2-P-49 FTICRによる金属クラスターの反応と安定多成分クラスターの探索
(¹産総研ナノテクナノ機能合成プロ・²産総研ナノテクナノ機構合成プロ)
°菅原孝一¹・古賀健司²
- 2-P-50 電子衝撃による1,1,1-トリフルオロイソプロピルメチルエーテルの単分子メタステーブル分解
(¹群馬高専・²アムステルダム自由大学)
田島 進¹・小島昇子¹・廣井祐子¹・儘田正史¹・°中島 敏¹・N. M. M. Nibbering²
- 2-P-51 ベンゼンジカルボン酸ジメチルエステルからの m/z 135 イオンの分解
(¹群馬高専・²日本電子・³アムステルダム自由大学)
田島 進¹・小島亜紀子¹・°杉村岳史¹・中島 敏¹・高橋 豊²・N. M. M. Nibbering³
- 2-P-52 ビスフェノール A のイオン化とフラグメンテーション
(横浜市大院総理)
°飯田泰浩・西風隆司・高山光男
- 2-P-53 RF イオントラップを用いたアルカリ金属イオンとクラウンエーテルのイオン分子反応の観測
(¹阪大院理・²阪府大総合科)
°藤垣美奈子¹・公文代康祐¹・豊田岐聡¹・岩本賢一²・石原盛男¹・交久瀬五雄¹

産総研・厚生別館 B
「懇親会」18:00~20:00

第3日 5月16日(金)

大講堂

「シンポジウム3」ポストゲノム時代を担う若手研究者
(9:00~11:50) 座長: 中山 洋・河合隆利

3-S-01 リボヌクレオーム解析を用いた RNA 修飾遺
伝子の網羅的探索

(¹東大院新領域・²東大院工・³立教院理・
⁴都立大院理生物・⁵遺伝研・
⁶福岡歯科大・⁷奈良先端バイオ)

°池内与志穂¹・野間章子¹・相馬亜希子³・
鳴 直樹¹・加藤潤一⁴・西村昭子⁵・
三木健良⁶・小林和夫⁷・小笠原直毅⁷・
関根靖彦³・渡辺公綱^{1,2}・鈴木 勉^{1,2}

3-S-02 Gel-enhanced LCMS Approaches for
Large-scale Proteomics

(University of Southern Denmark)

°Yasushi Ishihama and Matthias Mann

3-S-03 MS によるリン酸化(翻訳後修飾)解析と構
造解析 (徳島大&理研) 山内英美子

3-S-04 代謝の電子化プロジェクト
(産総研) 有田正規

3-S-05 大規模文献集合からの物質間相互作用の抽出
(日立製作所) 大田佳宏

3-S-06 細胞シミュレーション: システム生物学のた
めの基盤技術 (慶應義塾大) 内藤泰宏

「ランチョンセミナー」

(12:00~13:30) アプライドバイオシステムズ
ジャパン株式会社

「招待講演7」(同時通訳付)

(15:00~15:45) 座長: 西村俊秀

3-特-01 Mass Spectrometry Instrumentation for
Proteomics (Applied Biosystems R & D)

Marvin L. Vestal

「特別講演」(同時通訳付)

(15:55~16:40) 座長: 交久瀬五雄

3-特-02 ソフトレーザ脱離イオン化方法 SLD の起源
と未来 (島津製作所) 田中耕一

大会議室

「一般口頭発表」

(キラル分析, 医薬品, 環境, 食品)

(9:10~9:50)

3-O1-01 FABMS/EL ゲスト法における IRIS 値へ
のマトリクス効果

(¹阪市工研・²阪大産研・³阪大理)

°静岡基博¹・山田 等²・安達 廣³・

高井嘉雄²・武田徳司¹・澤田正實²

3-O1-02 質量分析法によるラセミ化を利用した複素
環化合物のキラル識別 (関西大工)

°大本将義・白岩 正・荒川隆一

(9:50~10:30)

3-O1-03 LC-MS による血漿中薬物分析のための自
動前処理条件の最適化

(¹島津分析応技・²エーザイ)

°河野慎一¹・村北宏之¹

山本栄一²・浅川直樹²

3-O1-04 ESI Ion Trap MS でのプロトン化分子およ
びフラグメンテーションによる薬物代謝物
の構造解析の戦略 (藤沢薬工業動研)

°戸塚善三郎・金子勇人

白神歳文・河村章生・加賀山 彰

(10:30~11:10)

3-O1-05 LC/MS/MS による 3,3'-dichlorobenzidine
の分析

(関大工) °溝奥康夫・橋本博幸・荒川隆一

3-O1-06 LC/MS によるクロロルデンの検出

(¹大阪市環研・²関西大工)

°森脇 洋¹・橋本博幸²・荒川隆一²

(11:10~11:50)

3-O1-07 マイクロフロー電解オンライン ESI-MS の
応用: カフェイン酸の 2 量体化

(¹関西大工・²神大理・³紀本電子)

°山口正史¹・堀田弘樹²・大塚利行²・

紀本岳志³・荒川隆一¹

3-O1-08 質量分析を用いた芋焼酎香气成分の解明

(¹東和大工・²(元)千葉大園芸)

°鶴田猛彦¹・(故)太田剛雄²

「ランチョンセミナー」

(12:00~13:30) ジーエルサイエンス株式会社

第3日 5月16日(金)

ホワイエ・多目的室

「ポスター発表」

(13:30~15:00)

- 3-P-01 SDBS における質量スペクトルデータベースのインターネットによる利用
(産総研) °和佐田宣英・衣笠晋一・齋藤 剛・滝澤祐子・日下部真理・石川啓一郎
- 3-P-02 生物医学文献からの知識発見
(日立中研) °大田佳宏
- 3-P-03 細胞シミュレーション: システム生物学のための基盤技術
(慶大・先端生命研) °内藤泰宏
- 3-P-04 フォーカストプロテオームにおけるバイオインフォマティクス-1: LC-MS/MS データからのタンパク質同定ソフトの比較・評価
(¹MKI・²エーザイ・シーズ研)
°横井靖人¹・三浦雄治¹・青島 健¹・田畑 剛²・河合隆利²・長洲毅志²・片山博之²・小田吉哉²
- 3-P-05 フォーカストプロテオームにおけるバイオインフォマティクス-2: タンパク質同定結果のフィルタリング
(¹エーザイ・シーズ研・²MKI)
°田畑 剛¹・河合隆利¹・長洲毅志¹・片山博之¹・小田吉哉¹・横井靖人²・三浦雄治²・青島 健²
- 3-P-06 プロテオミクス研究におけるコンセンサス EST データベースの開発と活用
(¹東大院新領域・²(株)メイズ・³(株)坂口技研・⁴放医研) °坂口裕理子¹・笠間康次²・近藤一弘²・尾崎順子²・坂口正明³・齋藤俊行⁴・鈴木 勉⁴
- 3-P-07 ラット肝星細胞におけるリン酸化タンパク質プロファイル
(¹JST・²MDS・³東和科学(株)・⁴プロフェニックス・⁵大阪市大医・⁶知的クラスター・⁷広大院理)
°妙見(宮本)夕佳¹・Dan Bach Kristensen²・武田善子¹・山縣 彰^{1,3,4}・河田則文⁵・立野知世⁶・大房 健^{1,3,4}・吉里勝利^{1,6,7}
- 3-P-08 四重極/リニアイオントラップのハイブリッド質量分析計を用いたリン酸化ペプチドのスクリーニング
(タカラバイオ)
°小暮佳史・渡辺 淳・川瀬靖聡
- 3-P-09 フォスタグTMを利用したリン酸化タンパク質の新規な分析方法
(¹(株)ナード研究所・²マナック(株)・³広大院) °南 則雄¹・川崎昭彦¹・竹田宏紀²・小池 透³
- 3-P-10 安定同位体修飾によるリン酸化ペプチドの変動プロテオミクス
(¹名市大院・薬・分子生物・²東大院医)
°村田千恵^{1,2}・幸田光復²・今川正良¹・田口 良^{1,2}
- 3-P-11 細胞死関連タンパク質キナーゼによるミオシンのリン酸化反応
(¹長崎大・環境・²三菱東京製薬・³阪大・蛋白研・代謝・⁴阪大・蛋白研・機能・発現プロテオミクス) °宮西隆幸¹・澤田英佑¹・日置剛司²・石井健久²・奥村宣明³・高尾敏文⁴
- 3-P-12 MALDI-QITTOF 質量分析による糖脂質および糖ペプチドの構造解析
(¹理研フロンティア・²島津・³筑波大・⁴理研) °伊藤恵実¹・田中耕一²・富永晃生²・御石浩三²・飯田順子²・後藤菜穂子³・伊藤幸成⁴・鈴木 實¹・鈴木明身¹
- 3-P-13 ニトロソ化タンパク質の質量分析—第2報—
(大阪府母子セ研) °金子理奈・和田芳直
- 3-P-14 血中タンパク質の混合ジスルフィド形成におけるニトロシル化経路
(大阪府母子セ研) °和田芳直・金子理奈
- 3-P-15 Nonylphenol および Bisphenol A の内分泌攪乱作用の解析
(神戸薬大) °竹内敦子・斎木加代子
- 3-P-16 Phage display 法による薬理活性物質結合ペプチドの選択
(東理大院)
°青木仁子・太田慶祐・鈴木克典・山崎隆之・菅原二三男・坂口謙吾
- 3-P-17 MS による新規 ghrelin 関連ペプチドの発見・解析手法
(¹第一サントリーファーマ・²国立循環器病センター・³サントリー生有研)
°岩佐恵子¹・角鹿 修¹・村松亮爾¹・林 友二郎¹・南竹義春¹・寒川賢治²・直木秀夫³・中嶋暉躬³
- 3-P-18 Multifunctional Sample Pretreatment Devices Using Stop and Go Extraction Tips (StageTips) for Proteomics
(Mann Lab., USD) °Yasushi Ishihama, Juri Rappsilber, and Matthias Mann
- 3-P-19 ケミカルターゲットプロテオームによる薬剤標的タンパク質の探索
(エーザイ(株)シーズ研) °佐藤俊孝・小田吉哉・大和隆志・片山博之・横井 晃・黒光淳郎・長洲毅志

第3日 5月16日(金)

- 3-P-20 Chemical targeted proteome: Isolation and characterization of phosphodiesterase V from platelets lysate
(Lab. of Seeds Finding Technology, Tsukuba Res. Lab., Eisai Co., Ltd.)
°Kishan Lal Agarwala, Yoshiya Oda, Yasutaka Takase, Hiroyuki Kato, Toshitaka Sato, and Takeshi Nagasu
- 3-P-21 UV-MALDI-TOF-MS analysis of the oligosaccharides from the cysteine proteinase cruzipain
(¹Ehime Univ. • ²Univ. Nacional de Gral. San Martin • ³Univ. de Buenos Aires)
°Yuko Fukuyama¹, Mariana Barboza², Vilma Duschak², Hiroshi Nonami¹, Rosa Erra-Balsells³, Juan J. Cazzulo², and Alicia S. Couto³
- 3-P-22 Negative-mode MALDI-MS 糖鎖分析法の可能性
(東大院理)°山垣 亮
- 3-P-23 質量分析法による糖鎖構造異性体の識別
(¹東大院理 • ²産総研)°山垣 亮¹ • 中西洋志²
- 3-P-24 ガングリオシドの LC/MS
(東医歯大機器分析)°笠間健嗣 • 川崎健治
- 3-P-25 Photochemistry, ESI-MS, Absorption and Luminescence Spectroscopy as Complementary Tools in UV-MALDI-MS Analysis of Carbohydrates
(¹Ehime Univ. • ²Univ. de Buenos Aires)
°Yoko Yasuda¹, Olga I. Tarzi², Hiroshi Nonami¹, and Rosa Erra-Balsells²
- 3-P-26 UV-MALDI-TOF-MS Analysis of N-Substituted Monosaccharides by Using Different Matrices
(¹Ehime Univ. • ²Univ. de Buenos Aires)
°Yasuto Sato¹, Maria C. Matulewicz², Carlos A. Stortz², Alberto S. Cerezo², Hiroshi Nonami¹, and Rosa Erra-Balsells²
- 3-P-27 脂質分子種の細胞内局在化のメタボローム解析
(¹名市大院・薬・分子生物 • ²東大院医 • ³名大院・医・分子細胞学)
°北條俊章^{1,2} • 藤本豊士² • 田口 良¹
- 3-P-28 培養細胞産生 Prostaglandin J₂ ファミリーの LC-ESI-MS による定量
(¹大阪バイオ研 • ²愛大医薬理)
°丸山敏彦¹ • 有竹浩介¹ • 裏出良博¹ • 恵美真以子² • 前山一隆²
- 3-P-29 LC/MS によるプロスタグランジン類の分析
(東大院医)°高橋利枝 • 北 芳博 • 魚住尚紀 • 清水孝雄
- 3-P-30 種々のイオン化によるスフィンゴホスホノ脂質のマススペクトルの比較
(¹関西脂質研 • ²近畿大共同利用セ)
°岸根秀樹¹ • 森田全律² • 林 陽¹
- 3-P-31 脂質分析のためのキャピラリー順相モノリスカラムの試作
(東医歯大機器分析)°川崎健治 • 笠間健嗣
- 3-P-32 新規 oGPCR である BG37 の生体内リガンド—胆汁酸の同定—
(万有製薬つくば研)°岡田裕正 • 杉山英次 • 田中健一 • 丸山尚治 • 宮本靖久 • 大沢浩一 • 中村立二
- 3-P-33 Linear Ion Trap MS を用いた、リン脂質の Profiling および構造決定
(¹ABJ • ²名市大薬 • ³東大院医)
°唐澤 薫¹ • 石田真悠子² • 北條俊章² • 田口 良³
- 3-P-34 CSI-MS によるグアニンカルテットの形成と崩壊の観測
(¹千葉大分セ • ²京大工)坂本 茂¹ • 中谷和彦² • 齋藤 烈² • °山口健太郎¹
- 3-P-35 Comparative UV-MALDI-TOF-MS Analysis of New Synthetic Nucleosides Using Different Matrices
(¹Ehime Univ. • ²Univ. de Buenos Aires • ³Univ. Nacional de Quilmes)
°Iku Ninomiya¹, Maria A. Ponce², Luis E. Iglesias³, Adolfo M. Iribarren³, Hiroshi Nonami¹, and Rosa Erra-Balsells²
- 3-P-36 タマネギを含むフラボノイド類の抽出と LCMS 分析
(¹食総研 • ²北海道農研セ)
°矢部希見子¹ • 星野幸子¹ • 中川博之¹ • 南指原崇子¹ • 濱松潮香¹ • 野口裕司²
- 3-P-37 GC/MS によるシソ属のケモタイプの判別
(¹(独)食総研 • ²(独)生物研)
°小林秀誉¹ • 新田みゆき² • 龜山真由美¹ • 長峰 司² • 吉田 充¹
- 3-P-38 SPME-GC-MS によるサツマイモ低沸点揮発成分の分析
(¹関西大工 • ²NFD)
°吉川宗義¹ • 宮本裕美子¹ • 溝奥康夫¹ • 尾崎俊行² • 荒川隆一¹
- 3-P-39 LC/ESI-MS を用いた Na⁺ アダクトイオンモニターによる Type A- および Type B-Trichothecen の分析
(¹日本ウォーターズ • ²金沢大院自然)
°佐々木秀輝¹ • 米久保 淳¹ • 早川和一²
- 3-P-40 四重極 LC-MS/MS を用いた食品中のアクリルアミド分析法の検討
(ジャスコイタナショナル株式会社)
°小笠原 亮 • 金田房子 • 垣見英登

第3日 5月16日(金)

- 3-P-41 低誘電率材料の気相モノマー重合プラズマの質量分析診断(1)
(¹半導体 MIRAI-ASET・²産総研電力エネルギー・³半導体 MIRAI-産総研・⁴広島大 RCNS)
°木下啓蔵¹・中野昭典¹・川原 潤¹・齋藤直昭²・吉川公磨^{3,4}
- 3-P-42 高分解能イオンモビリティ TOF-MS による均一合成ポリマーの 3D スペクトル。立体規則性、付加イオンの影響
(¹関西大工・²阪大基礎工・³Indiana Univ.)
°荒川隆一¹・近藤正信¹・右手浩一²・A. Hilderbrand³・D. E. Clemmer³
- 3-P-43 電荷逆転質量分析法を用いたクロロフェノール分子(イオン)からの HCl 脱離—MIKE スペクトル法との比較—
(¹日本電子・²阪府大総)
°高橋 豊¹・冠木伸岳²・川村義明²・北口明宏²・早川滋雄²
- 3-P-44 ポリクロロフェノールアニオンの解離反応
(都産技研)°中川清子
- 3-P-45 電荷逆転質量分析法による中性金属カルボニルの解離
(阪府大総科)
富永圭介・小西紳也・°早川滋雄
- 3-P-46 CAD による単糖類のアルカリハライドトリプリーオンアダクトイオンの主なフラグメンテーションの研究
(¹福井大工・²福井大教育)
°Nora Martinez¹・伊佐公男²・中田隆二¹・畠中 稔²
- 3-P-47 ジペプチドのプロトン付加イオンの高性能 CID スペクトルによる構造解析(2)
(¹福井大教育・²日華化学)°伊佐公男¹・後藤麻紀子¹・竹澤秀之¹・小林紀秋²
- 3-P-48 四重極イオントラップ内でのパルスガス導入方式を用いた赤外多光子解離
(日立中研 MS 部)°長谷川英樹・橋本雄一郎・和氣 泉
- 3-P-49 有機化合物のガリウムイオン付加質量スペクトル (Ga^+ -IAMS)
(¹小山高専物質・²アネルバ・真空)
°岸 浩¹・藤井敏博²
- 3-P-50 多粒子シミュレーションによる FT-ICR 質量分析計における励起電圧波形の比較
(広島市大情報)°藤原 真
- 3-P-51 高温質量分析計による LiNbO_3 蒸気圧測定—測定法上の工夫—
(¹東大原総セ・²東大院工)°安本 勝¹・星野 毅²・山脇道夫²・寺井隆幸²
- 3-P-52 アセチルコリンクラスターの生成とフラグメンテーション
(横浜市大院総理)°征矢直人・高山光男
- 3-P-53 コール酸ミセルの分子量測定
(岐大工)°梶浦孝友・野原大輔